

厚生労働科学研究委託費（革新的がん医療実用化研究事業）

研究成果の刊行に関する一覧表

【国際学会】

- 1) Hidenobu Tachibana, Tatsuya Kamima, Ryo Takahashi and Hiromi Baba, “CT-based independent dose verification for RapidArc plan as a secondary check,” 56th AAPM Annual meeting, July 20th-24th, 2014, Austin, Texas, USA.

【招待講演】

- 1) 橘英伸、”光子線治療の基礎、実際から研究まで”、駒澤大学がんプロ「医学物理士養成コースインテンシブセミナー2014」(世田谷、東京)、2014年11月
- 2) 橘英伸、”個別プランニング、個別品質管理への適応”、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン東海大学・慶應義塾大学医学物理シンポジウム臨床応用に発展する医学物理研究(品川、東京)、2014年11月

【国内学会】

- 1) 高橋良、橘英伸、上間達也、板野正信、山崎健史、石橋悟、樋口義洋、清水裕之、山本鋭二郎、山下幹子、馬場大海、菅原康晴、佐藤礼、西山史朗、河合大輔、宮岡聡、”介入レベルからみた独立計算検証の実行可能性の検討”、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜市)、2014年12月
- 2) 山崎健史、板野正信、石橋悟、樋口義洋、山下幹子、小浴恵、小林望美、橘英伸、”独立計算検証ソフトウェアプログラムの違いの影響 –異なるプログラムでの多施設比較”、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜市)、2014年12月
- 3) 西山史朗、眞壁耕平、石橋悟、橘英伸 ” Add-on micro multi-leaf collimator を使用した脳定位 Arc 照射の独立計算検証の有用性”、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜市)、2014年12月
- 4) 河合大輔、馬場大海、上間達也、山本鋭二郎、石橋悟、樋口義洋、橘英伸 ” 独立計算検証ソフトウェアプログラムによる肺がん SBRT の線量評価の検討”、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜市)、2014年12月
- 5) 馬場大海、上間達也、高橋良、河合大輔、菅原康晴、山本鋭二郎、佐藤礼、山下幹子、橘英伸 ”IMRT-QA における独立計算検証の実行可能性”、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜市)、2014年12月
- 6) 上間達也、高橋良、馬場大海、山下幹子、菅原康晴、佐藤洋輔、橘英伸、”IMAT 独立線量計算検証の可能性について”、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜市)、2014年12月
- 7) 板野正信、清水裕之、橘英伸、上間達也、小浴恵、山崎健史、石橋悟、樋口義洋、山本鋭二郎、山下幹子、馬場大海、菅原康晴、佐藤礼、西山史郎、河合大輔、宮岡聡、高橋良 ”セカンダリチェックのための独立計算検証の多施設試験開始前ビームデータチェックに関する報告”、第109回日本医学物理学会学術大会(横浜市)、2015年4月

- 8) 清水裕之、板野正信、山崎健史、高橋良、上間達也、山下幹子、橘英伸、馬場大海、石橋悟、樋口義洋、山本鋭二郎、菅原康晴、佐藤礼、西山史郎、河合大輔、宮岡聡 “ ウェッジ利用時の軸外線量比の独立計算の精度 ”、第109回日本医学物理学学会学術大会（横浜市）、2015年4月